

第33回高校生の安全教育に関する 研究協議会並びに講演会 参加報告

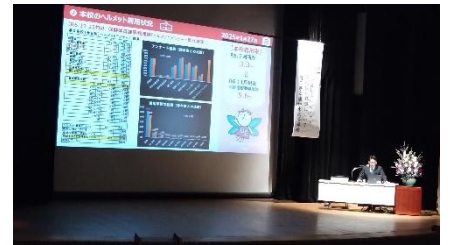
実施期日 令和7年1月27日(月)
会 場 埼玉会館小ホール
主 催 埼玉県高等学校安全教育研究会
参 加 者 長坂・村岸



【実践発表】

「浦和東高校の自転車ヘルメット着用推進校の取組について」埼玉県立浦和東高等学校 校長 遠井 学 様

県警察・自転車ヘルメット着用推進校の指定を受け、安全教育に取り組んでいるが、残念ながらヘルメット着用率は伸び悩んでいる。そのため生徒会から全校へ呼びかけたり、部活動単位でヘルメットを貸与するといった工夫をこらしてきたことにより着用への抵抗感が徐々になくなってきており、着用率も上がってきた。また、令和7年度から校則(生徒心得)へ明記するなど時間をかけヘルメットの重要性・効果を粘り強く指導していくと発表された。



【学校安全に関する情報提供】

埼玉県教育局県立学校部保健体育課 指導主事 山田 朗 様

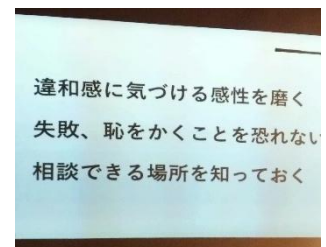
埼玉県は1世帯あたりの自転車保有台数は全国3位であるが、ヘルメット着用率は9.2%で全国39位と低い。(全国平均 17.0%)着用の定着に向けて様々な講習会を実施している。高校生の自転車運転時の交通事故が多発しており、自分の身を守るためにヘルメット着用は有効であることを継続して指導していく必要がある。

【講演会】

演 題 「高校生がネット犯罪に巻き込まれないためには？」

講 師 一般社団法人 School Police 阿部 佑介 様

高校生のスマートフォン操作時間は一日平均6時間14分。今の時代、授業やクラス活動など、高校生の生活には欠かせないツールとなっているが、SNSなど利用を間違えると「一生消えないデジタルタトゥー」として残ることを覚悟しないといけない。将来大事な場面で過去の自分に足を引っ張られることがないように、SNSを利用するには「この動画をアップしたらどうなるか」を常に想像して利用してほしい。



【所感】

高校生のヘルメット着用率が伸び悩む理由として、周りがかがっていない、必要性を感じないという意見があることが発表された。講演を聞きながら大人の着用率は？道路交通法に従った運転をしているか？と自問し、ヘルメット着用率を高めるためには、家庭・地域が積極的に取り組むことが大切であると考えた。

そのため PTA 活動の一環として学校の安全教育に一層協力していきたいと思った。

(文責 本部)

次回開催予定 令和8年1月28日(火)